

第1回吉備中央町健康影響対策委員会 議事概要

日時 2023.11.17（金）17:30～19:15

場所 吉備中央町賀陽庁舎 2階中会議室

町長あいさつ

（町長）

- ・ この委員会での議論が、町民の皆さまの不安の軽減につながることを願います。
- ・ 町民の方々の御要望、お気持ちに寄り添った対応を行いたいと考えています。

議題1（省略）

議題2 有機フッ素化合物（PFAS）について [資料5]

<スライド6>

- ・ 動物実験でさまざまな毒性が観察される場合は、通常の数倍～10,000倍以上の高濃度の場合で起こっている。
- ・ 人に対する研究でも、様々な健康影響等が指摘され始め、疫学的なエビデンスが蓄積されつつあるが、影響のあり、なしの報告が混在している場合もあり、まだ論議がなされている最中である。

<スライド8>

- ・ ここ10年、ほとんどの人が何らかのばく露を受けており、血液検査をするとほとんどの人からある程度の数値は検出される。
- ・ 浄水処理において、活性炭フィルター等を用いて、適切に交換することで、取り除くことは可能。

<スライド9>

- ・ 血液濃度について、直ちに健康影響があるといえる基準値はない。日本では、米国やカナダ等のような参照値はない。環境省がデータをとっているが、データが少なく傾向を見ているというものだ。

<スライド10>

- ・ 血中濃度が高いと分かっても、それをすぐに下げる方法は今のところなく、ばく露をなくすことが重要である。
- ・ 体内での半減期は3～5年であり、自然に排泄される。

【質疑応答】

1 飲用水再開に関することについて

- ・ 水道管に付着する影響はほとんどないとする。配水する水の検査を行い基準を満たした水を流すので安心だと思う。水道管の中に滞留している水については、PFOS等の濃度の高いものが残っている可能性があるため、町の指示に従って一定時間水を出して水の置き換えがあれば水道管の取り替えは必要ないと思う。
なお、蛇口から取った水も検査すると住民の方もより安心するのではないかと思う。

2 血液検査に関することについて

- 血中濃度の測定については、一般的に、医学的には血中濃度を測定する必要はないと考える。
- 今回のケースでは、令和2～5年度のPFOS・PFOAの水質検査結果を用いて推定すると、PFOA等の値が高くなり始めた時期は、そんなに昔ではないだろうと考えられる。現在、短期的な影響は見つかっておらず、数年間高い状態であっても、すぐに病気になることはおそくないと考えられている。また、強制的に血中濃度を下げることができない。血液検査よりも摂取する水をきれいにして、ばく露を受けないことが重要だ。
- 諸外国では、訴訟によって企業から賠償金を得て、それを原資として住民の健康対策を行っている例もある。
- このたびの円城地域で推測されるPFOS等の濃度と期間では、米国やヨーロッパのケースよりは血中濃度もそれほど高くなっていないと思われる。
- 血液検査を行うとすれば、統計学的に有効な対象者を抽出して行う方法が考えられる。性別、年齢を考慮して50人程度を抽出して行う方法が考えられる。ただし、抽出となると、血液検査を受けられる者と受けられない者が出てくるので、丁寧に説明する必要がある。
- また、半減期等の期間があるため毎年行う必要はなく、5年後くらいに再度実施し、状態を確認して評価するということも考えられる。

3 血液濃度と健康影響の関係及び血液検査の伝え方について

- 受検する住民の方へ実施する前に、健康影響との直接的な関係をこれによって調べることはできないということを十分理解していただくことが重要であり、それを理解したうえで希望される方には結果を伝えることが適当であると考えられる。
- 工場で働いていた方は、高い値でばく露され、血中濃度も高い状況になっていると思われるが、1年2年で影響が出ているようなことは観察されていない。
- 報道では発がん性も指摘されているが、長い期間さらされることで起こるような現象である。このたびのケースでは、水道水のPFOS等の濃度が高い期間は10年に満たないと推測され、すぐに影響が出てくる可能性は低いと思う。
- お腹の赤ちゃんにはもしかしたら出生体重が低くなるという影響が出る可能性はあるかもしれない。これから妊娠する可能性がある方で希望される方には、血液検査をし、安心いただく意義はあるかもしれない。
- 長い期間、摂取し続けていけば健康への影響について問題になる可能性はあるが、既に汚染された水は供給されていないので、心配する必要はないと考える。
このPFOS等は、ほんの少しの間さらされただけで20年後、30年後に影響が起これといった心配は今のところないと思う。

議題3 健康への影響と対策について [資料4]

- ・ 吉備中央町から健康影響の評価を迅速にしてほしいと依頼があったので、資料6のとおり、既存の特定健康診査などのデータをばく露した地域としていない地域で比較した分析を行った。
- ・ 一つ目は横断的に2022年度の特定健康診査と後期高齢者の健康診査結果の比較を行った。二つ目は過去10年の早産・低出生体重児の出生割合の比較を行った。
- ・ 特定健診などの項目で特に海外の知見で指摘されているものを見せてもらった結果、特定健康診査と後期高齢者健康診査では、統計学的に有意と言えない結果になった。
- ・ LDL 等の実際の数値でも検討したが、それについても特に統計学的に有意になる結果は出なかった。
- ・ 早産・低出生体重児の分析についても、統計学的に有意と言えない状況かと思われる。
- ・ 今後は、低出生体重児、早産の方は過去をさかのぼるよりも前向きに（今後の状況を）評価していくことが必要だと考えている。特定健康診査、後期高齢者の健康診査の分析に関しては、2022年度以前のデータも10年程度あるので、経年評価を行った方がいいと思っている。

【質疑応答】

- ・ 胎児への影響については、出生体重が低くなるということが観察されている。
ただ、出生体重が低くなったからどうなるかについては、すぐに影響はないのではないかと考えている。
- ・ 血液検査に関しては、妊婦の方ではなくて、これから妊娠を計画していて、心配だという方がいれば、実施してもよいかと考えている。
ただし、どれだけの結果だったら、子どもが小さくなるかということは示すことができないので、その点もよく説明した上で、実施するかしないか選択していただければと思う。
- ・ 他の検査方法として、エコー検査は有効ではないと思う。特定健診を受けているのであれば、それで十分ではないかと思う。
- ・ 東日本大震災の後の対応が今回の様子と非常によく似ていると思っている。東日本大震災の原子力災害から12年経過して、福島において実際にどうだったかという点、特に放射能による顕著な影響、健康被害は報告されていない。むしろ、それを懸念して外出や外遊びが減少したことで、小児の肥満等が副次的に起こっているが、当時のばく露が（健康に）影響を与えたということはない。
- ・ 今やるべきことは、なにか特別なプロジェクトを行っていくよりも、町が実施している既存の特定健診あるいはがん検診をきちんと受けていただくことだと考える。心配な方にこそ、しっかり受けていただくことを徹底することが大事だと思っている。
- ・ 血中濃度に関しては、いろいろ意見が分かれるところだと思うが、不安な方に血液検査を実施するのは一つの方法だろうと思う。今回、対策の効果を見るということを目的にすると、不安な方をモニタリングするというのも一つの可能性ではないかと思う。
- ・ 特定健診の際に採血すると思うので、その血液の余りを使って検査することも十分

可能かなと思う。

- がんに不安のある方もいると思うが、PFOS・PFOAの発がん性は通常の発がん性物質の性質とは異なっている。通常、放射線も含めて、ある一定以下であれば発がん性がないということはない、低くてもがんになる可能性はあるということになるが、PFOS・PFOAについては、ある一定濃度以下であれば、発がんが認められないということがメカニズムとして考えられている。その一定濃度以下の基準がどれくらいかというのは分かっていないが、おそらくそれほど低い値ではないのではないかと思う。がんになるということに対しては、これまでの状況では、工場労働者のような非常に高い濃度でばく露した者に発がんが認められている。
- 遺伝毒性はない。DNAが切断されるようなことはないので、そういう意味での発がん性ではない。
- だいたいほとんどの健康影響は閾値（ある一定以上になると健康への影響が生じる）があると考えられている。PFOS・PFOAの発がん性も閾値があるのではないかという見解もある。
- 健康影響が出るからモニタリングしようというのではなく、ほとんどそのような可能性はないけれども、安心するために健診して見守っていこうということの方が、むしろよいのではないかと思う。
- 健診が11月末で終わるが、PFOS・PFOAということではなくて、健診は非常に重要で、有効性の認められたものについて実施しているので、皆さんが参加することが大事だと思う。
- 健診期間の延長については検討いただきたい。
- 次回までに、町の「検討いただきたい事項」について、各委員が意見を出し、それを次の委員会で協議することとする。
- 住民説明会は頻繁に開催した方がよい。全て町から情報提供ということではなくて、専門家を招いて説明してもらおうとこともよいのではないか。常に情報発信していくことが、住民の不安を解消する意味では重要だと思う。
- 次回の委員会の公開については、公開するのであれば、方向性がまとまった段階とした方がよいと思われるため、今回は非公開とする。